

質疑及び一般質問

令和4年5月30日、31日、6月2日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

5月30日(月)



◎群馬県立女子大学におけるトランスジェンダーの受入れについて

自由民主党 穂積 昌信

Q 2018年からトランスジェンダーの受入れの検討を開始していますが、これまでの検討状況について伺います。

A 学内の検討部会において検討を進めています。課題となっているのは、トイレ・更衣室等の施設整備や、学内の教員・学生・保護者などの関係者のジェンダーへの理解を深めることです。これらの点は、全国の多くの女子大学でも共通する課題となっています。大学では受入れについて前向きに考えているため、県でも大学側の検討状況や意見を聞くなど、対応していききたいと考えています。



◎強度行動障害について

リベラル群馬 小川 晶

Q 県内における強度行動障害児者の現状と県の実施について伺います。

A 強度行動障害のある方の多くは施設入所を希望していますが、常に見守りや介助が必要となるため、施設側の体制上の課題もあり、思うように受入れが進まないのが現状です。県では、強度行動障害支援者養成研修を実施するなど受入れ体制の整備を支援しています。今年度は専門家の派遣や施設改修費用の助成などを行うモデル事業を実施する予定であり、今後も必要な環境整備に取り組んでまいります。



◎日本一の野菜産地づくりに向けた県の取組について

自由民主党 川野辺 達也

Q 本県の夏秋キャベツと夏秋ナス出荷量が日本一を達成しました。「野菜王国・ぐんま」の更なる発展に向けた、日本一の産地づくりの取組について伺います。

A 県では、戦略的に重要な野菜を「重点8品目」に位置づけ、選果場の整備や高性能機械、環境制御システム等の導入による規模拡大や生産性向上など、産地の競争力強化に取り組んでいます。今後もグリーン化など、持続可能な産地づくりを推進し、「野菜王国・ぐんま」の更なる発展を目指します。



夏秋キャベツ



◎農林業分野における知事のトップセールスについて

自由民主党 金井 康夫

Q 知事は就任以来、各分野において精力的にトップセールスを実施していますが、農林業分野における取組について伺います。

A 農業分野では、県産農畜産物の付加価値向上やリトリートの聖地に向けた連携などについて、企業のトップにアプローチしています。薬用作物の栽培は、農家の経営安定に資することが期待されるため、栽培拡大をお願いしました。また、林業分野では、林業改革への連携や県産木材の活用をPRしています。今後もトップセールスを通じて、本県の農林業の可能性を広げていききたいと考えています。

5月31日(火)



◎県産農畜産物のブランド力向上について

自由民主党 神田 和生

Q 県産農畜産物のブランド力を向上させるための取組をどのように推進していくか伺います。

A 本県の農畜産物は、知事就任以来、G-アナライズ&PRチームによる分析結果に基づいた農畜産物の高付加価値化に取り組んでいます。今年度は、①民間のマーケティング手法を活用した戦略の策定、②「(仮称)ぐんまプレミアム認証制度」の創設に着手、③メディアミックスによるプロモーションの展開、④海外における販路拡大等により、ブランド力の向上を図ります。



◎低出生体重児の支援とリトルベビーハンドブック(※)について

令明 あべ ともよ

Q 群馬県における低出生体重児の出生状況と支援の現状、リトルベビーハンドブックの作成について伺います。

A 令和2年に生まれた低出生体重児は全体の約9%にあたる1,069人で、母子保健法に基づき市町村が主体となって支援を実施しています。県では市町村の取組を支援しているほか、入院が必要な1歳未満の低出生体重児の医療費の一部を負担するなどしています。来年度に行われる母子健康手帳の改訂状況を踏まえ、リトルベビーハンドブックの作成について対応を検討したいと考えています。



◎県立多々良沼公園及び周辺の活性化について

自由民主党 森 昌彦

Q 県立多々良沼公園と周辺の活性化及び地域の市民団体等との連携について、県の考えを伺います。

A 地域の活性化に向けては、地域の主体的な取組が重要であることから、館林市や邑楽町の当該地域の活性化に向けたビジョンや取組を把握した上で、県として必要な支援策について、連携して検討してまいります。また、従来より自然再生に向けた活動やイベントを市民団体等と共同開催しており、今後も地域の方々と連携した公園運営に取り組んでまいります。



県立多々良沼公園



◎県立夜間中学の設置場所について

自由民主党 斉藤 優

Q 伊勢崎市に設置予定の夜間中学の設置場所について、検討状況を伺います。

A 令和6年4月に開校を予定している夜間中学については、全県から通いやすく、教室等の確保ができることから、県総合教育センターに設置します。多様な背景を持つ方々が社会の一員として活躍できるよう、企業と連携したICT教育やキャリア教育の充実を図るほか、個々のニーズに合わせてオンラインと対面による教育を実施するなど、全国に先駆けた「ハイブリッド型の県立夜間中学」を目指します。

6月2日(木)



◎温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録への県の取組について

自由民主党 萩原 渉

Q 温泉文化世界遺産研究会の活動も5年目となり、日本固有の文化遺産である温泉文化の保護・振興の必要性が明確となってきました。今後の県の取組について伺います。

A 全国屈指の「温泉大国」である本県にとって、ユネスコ無形文化遺産登録を目指していくことは大変意義のあることです。登録に向けては、温泉文化の定義づけなど、だれもが納得する理屈の整理と、政策を実現するための体制作りが必要です。決して簡単なことではありませんが、これから本格的に取り組んでいききたいと考えています。



◎孤独・孤立対策について

リベラル群馬 本郷 高明

Q 国が孤独・孤立対策の重点計画を策定しましたが、県はどのように取り組んでいくのか伺います。

A 孤独・孤立対策では、問題が深刻化する前に、支援を必要としている方の状況に応じた適切な相談・支援を行っていくことが重要です。県では、これまで、県民の抱える様々な問題に応じた相談体制の整備を進めてきました。孤独・孤立の問題を抱える当事者やその家族が、支援を求めやすい社会の実現に向け、しっかりと取り組んでまいります。



◎部活動の地域移行に係る準備状況について

自由民主党 亀山 貴史

Q 中学校における休日の部活動の地域移行について、令和5年度から段階的な移行が開始されますが、本県の準備状況を伺います。

A 県教育委員会では、市町村教育委員会や学校に対し、段階的な移行に向けた検討をお願いしています。令和3年度の試験的な取組により、指導者の選任などの課題も明らかになっています。休日の部活動指導を希望する教職員の兼職兼業も含め、部活動に係る環境整備と学校の働き方改革の両立に向けて、引き続き関係機関と連携して取り組んでまいります。



部活動の様子



◎サイバーセンターの設置について

自由民主党 橋爪 洋介

Q 令和4年4月に、新たにサイバーセンターが設置されたところですが、期待される効果について伺います。

A サイバー犯罪捜査係やサイバーセキュリティ対策係等の統合により、事案発生時の迅速な対応や連携強化などの点で効果があると考えます。また、県警内で高度な知見を有する人材が切磋琢磨し、技術を高め合う相乗効果も期待しています。サイバー犯罪の迅速・的確な捜査、被疑者の検挙、被害防止対策を推進し、県民が安全・安心に利用できるサイバー空間の実現に全力で取り組んでまいります。

※リトルベビーハンドブック…小さく生まれた低出生体重児の成長を記録できる専用の小冊子。